

初夏の風物詩 ゲンジボタル観察会

竹内利子（千葉市）

日 時：2013年6月8日（土）と15日（土）

場 所：講義・宿泊：千葉市ユースホステル（Y.H.）、フィールド：昭和の森

主 催：千葉市ユースホステル、後援：千葉県自然観察指導員協議会

参加者：6月8日 大人10名 子ども 8名 計 18名

6月15日 大人12名 子ども14名 計 26名

参加指導員：6月8日 1班：綾富美子 2班：小林義和 3班：佐藤一枝

6月15日 1班：竹内利子 2班：武田宏子 3班：山下美佐子

日程内容

15:00～ 挨拶・スタッフ紹介・全体説明

15:10～17:00 ホタルが自生する自然環境を観察

17:00～17:15 休憩

17:15～18:00 ホタルについての講義 スライド クイズ

18:00～19:00 夕食

19:20～20:20 ホタル観察

20:20～20:45 ふりかえり・解散(班単位)

(20:45～21:00 指導員ふりかえり・解散)



I ホタル生息域の観察

①YH広場(タイサンボク・広場の虫・草花遊び・コナラの赤ちゃん)→②調整池(ウシガエルのオタマジャクシ・メダカ・トンボなど・ザリガニ・ヨシ笛・ショウブの香り)→③中菖蒲田(湧き水・ホタル水路・カワニナ・オニヤンマのヤゴ・サワガニ・アズマヒキガエルのオタマジャクシ・ハナショウブなど)→④斜面林(鳥の声・香りのある木や草・苦い木・穴だらけの葉っぱ、オトシブミ)→⑤ホタル田んぼ・田んぼ池(ホトケドジョウ・ドジョウ・アメンボ・ゲンゴロウ・トンボなど、サンプル:標本採取)→⑥下夕田池(水鳥・スイレン・トンボ・菖蒲田を眺めホタルの生息地を確認する・森全体を眺める)

II ホタルの講義 ホタルクイズ

「ホタルの生態と一生」をパワーポイントで提示し説明する。

ホタルクイズをし、ホタル博士を表彰し棕櫚で作ったバッタを全員に配布する。

III ホタル観察

用意したホタルブクロを全員に配布する。中菖蒲田まで指導員が案内し、8時まで自由に観察 8時にYHへの帰路に着く。ホタルブクロは指導員が自宅で栽培したものであることを一般の参加者に説明しながら、ホタルをホタルブクロに入れて観賞する。みな感動する。中菖蒲田のホタルが復活して、昨年より多くのホタルが飛翔、多数舞っていた。



IV ふりかえり(参加者の感想)

ホタルがきれいで感動した。20年ぶりにホタルを見た。ホタルを初めてみた。ホタルを捕りホタルブクロにホタルを入れてみてきれいだった。自分はホタルを見たことがあるが家族が見ていないので参加してとてもよかったです。公園について地形・分水嶺・湧き水・谷津田・里山・植物など今迄とは違った見方をするようになった。

V 指導員ふりかえり

標本採取でオニヤンマのヤゴ、イトンボのヤゴ、ドジョウ、ホトケドジョウ、トウキョウサンショウウオの幼生など自然が豊かな証拠がたくさんあり、時間を工夫し、田んぼ池で遊ばせることが必要。

参加者の家族は自然観察のマナーを心得ていて、以前に比べ案内しやすかった。